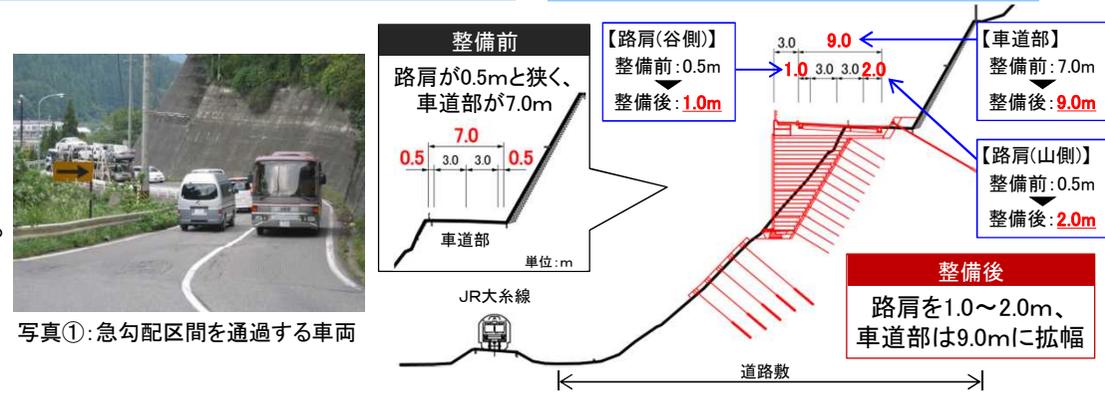
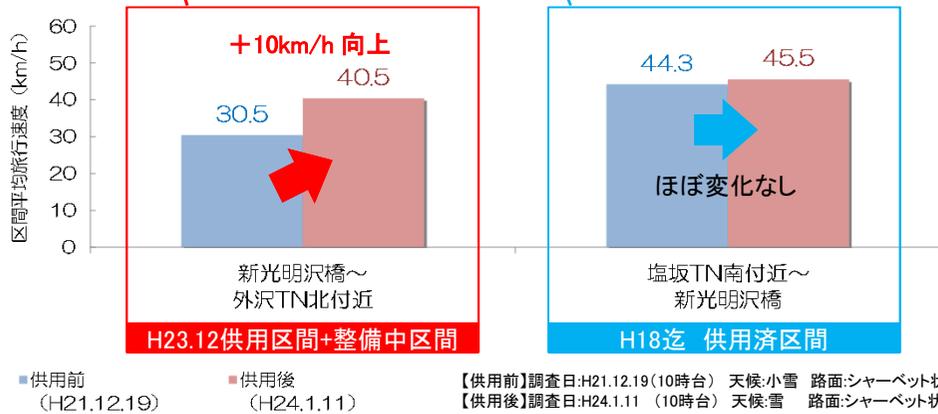


小谷道路部分供用による安心・安全が向上

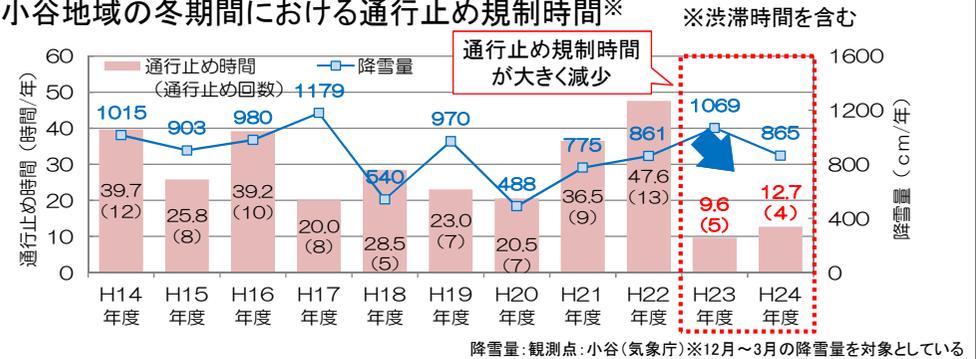
- ・幅員狭小による大型車のすれ違いが困難であったが、車道幅員・路肩の拡幅整備を行い、平成23年12月に整備区間のうち700mを部分供用した。
- ・急カーブや急勾配が改善され、降雪が多かった供用後においても、通行止め等の回数が大きく減少した。
 - ・降雪量：供用前857cm/年(H14～H22平均)→供用後967cm/年(H23～H24平均)⇒ **1.1倍**
 - ・通行止め規制回数：供用前8.8回(H14～H22平均)→供用後4.5回(H23～H24平均)⇒ **半減**
- ・部分供用により旅行速度が約10km/h向上した。
- ・道路利用者も、混雑解消・緩和や安全性の向上を高く評価。



○ 部分供用区間における旅行速度の向上



○ 北小谷地域の冬期間における通行止め規制時間*



○ H23.12供用区間に対する道路利用者の評価(アンケート調査)

Q.「スムーズな交通の確保」の観点から、部分供用区間に対する評価をお答え下さい。

